

1 プロジェクトタイトル

■がん対策の推進による健康増進事業

2 キャッチコピー

■がんをはじめとする疾患の早期発見・早期治療に繋げることにより健康寿命の延伸を図ります

3 目標金額

■30,000,000円

4 タグ設定

■「がん検診」「がん対策」「健康」「長寿」

5 SDGs

■「3.すべての人に健康と福祉を」、「11.住み続けられるまちづくりを」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」

6 プロジェクト概要

本町は、大阪都心部から約30kmの場所に位置し、豊かな自然に恵まれたベッドタウンとして発展してきました。

総面積17.24km²のコンパクトさゆえに、活発な地域コミュニティが醸成されており、持続可能で「永く楽しく暮らせるまち」を目指し、自治会や住民団体をはじめ、町内に立地する3大学・1研究所等との取組において、人材や資源などさまざまな分野で相互に有効活用しながら、公民連携による魅力あるまちづくりを進めています。

今年度、本町では健康増進分野における取組のひとつとして、がん検診の受診率向上を図り、がんの早期発見・早期治療に繋げるため、「がん検診等web予約システム」を導入するとともに、がん検診等の受診費用を一部無償化します。

さらに、がん患者の治療と就労の両立及び治療生活の質の向上への支援や若年のがん患者で終末期を住み慣れた生活の場で安心して自分らしく在宅で生活するための支援として、「がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業」や「がん患者等在宅療養生活支援事業」に取り組んでいきます。

以上のように、がん対策に総合的に取り組み、健康寿命の延伸を図ることにより、ひとりひとりがいきいきと豊かに暮らせる健康まちづくりを目指します。

7 なぜ寄附を募るのか

本町では、「ひとりひとりがいきいきと豊かに暮らせる健康まちづくり」を基本理念として取り組んでいる「第3次健康くまどり21(健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画)」に基づき、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指し、健康増進に関する様々な事業に取り

組んでいます。

本町における病気による死因（令和3年度）の第1位が「がん」で、死亡者数の約30%を占めており、がん対策は喫緊の課題となっています。

そこで、今年度からがん検診等予約の利便性等を向上させることで、がん検診等の受診率の向上を図り、がんの早期発見・早期治療に繋げるため、「がん検診等 web 予約システム」の導入や、がん検診等の受診費用の一部無償化を決めました。

また、既にごがんを患ってしまった方々が、自分らしくいきいきと生活するための支援策として、「がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業」等にも取り組んでまいりますので、企業の皆さまにおかれましては、本プロジェクトへのお力添えをご検討いただけると幸いです。

8 プロジェクトのポイント

1 がん検診等 web 予約システムの導入

本町では、主に電話や窓口においてがん検診等の申込受付を行っていましたが、役場開庁時間に予約することが難しい、特に40～50歳代の働き世代の受診率向上が課題となっておりました。

また、「電話申込みが繋がらない」、「対象の検診がわからない」といった意見もあったことから、住民の利便性向上を図るべく、予約システムを導入することとなりました。

新たに導入する「がん検診等 web 予約システム」は、スマートフォン等から簡単に検診予約ができるようになるだけでなく、健康管理システムと連携することで、対象者ごとの受診履歴に応じた各種検診等の予約に加え、受診勧奨を必要なタイミングで行うことが可能となるため、継続的かつ効率的な受診勧奨に繋がります。

システム導入により、住民の検診等への意識を高め、がんをはじめとする疾患の早期発見・早期治療に繋げることで、健康寿命の延伸を図ってまいります。

2 がん検診等の受診費用の一部無償化

がん検診の受診率向上を図る取組として、がん検診等の受診費用の一部無償化を図ることにより、住民の経済的負担を軽減することで検診を受診しやすい環境整備を図ります。

無償化する検診は、既に無償化している大腸がん検診と肺がん検診に加え、乳がん、子宮頸がん、胃がん（集団検診のみ）検診となります。

3 がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業

がんになっても自分らしく生きることができる社会の実現に向け、治療に伴う外見変化に悩む患者を支援し、がん治療と社会参加の両立を図るものです。

抗がん剤治療等の副作用などによる脱毛症や乳房切除に伴う、医療用ウィッグや乳房補整具の購入費用について助成します。

4 若年性がん患者在宅療養支援事業

40歳未満の若年性のがん患者が終末期を住み慣れた生活の場で安心して自分らしく生活できるように在宅サービス利用料の一部を助成するものです。

ホームヘルパーによる日常生活の介護や家事援助に係る費用や福祉用具購入費用、居宅介護支援費用について助成します。

9 困りごと・課題

先述のとおり、本町における病気による死因（令和3年度）の第1位が「がん」で、死亡者数の約30%を占めています。

そのため、国ではがん検診受診率の目標を60%と掲げています。

本町においては「第3次健康くまとり21（健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画）」において、令和6年度の町で実施しているがん検診受診率の目標値を定めていますが、現時点においてはすべての項目において未達成の状況です。

（目標数値）	（R4年度）
・胃がん9%	→ 5.6%
・大腸がん22%	→ 11.7%
・乳がん28%	→ 21.3%
・子宮頸がん32%	→ 24.6%
・肺がん21%	→ 13.1%

今回新たに取り組むがん対策施策により、これらの目標値を達成するとともに、がん患者に対する充実した支援についても併せて取り組んでまいります。

10 メッセージ

本町では、すべての住民が健康にいつまでも元気でいきいきと永く楽しく日々を送り続けることができるまちづくりを進めています。

本プロジェクトでは、がん検診等予約をオンライン化やがん検診等の受診費用の一部無償化を行うことで、特に働き世代の受診を促すことにより、あらゆる世代の健康寿命の延伸に繋げるだけでなく、がん患者が自分らしくいきいきと生活するための支援を行うことで、がん対策に総合的に取り組む重要なプロジェクトであると考えています。

このプロジェクトを、ふるさとコネクトを通じて全国の企業の皆様に知っていただくことにより、さらに充実した健康増進分野における連携ができることを期待しています。

企業の皆さまのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。